

平成27年度
第2回広島県道徳教育研究協議会

実践報告

平成28年2月12日(金)
福山市立駅家南中学校 研究主任 住谷勇紀

- (1) 本校の状況
- (2) 研究の概要と具体的な取組
- (3) 実践の検証

本校の状況

福山市立駅家南中学校

～生徒数～

1年生 145名, 2年生 136名, 3年生 146名
計427名

～学級数～

各学年4学級
特別支援学級2学級
計14学級



本校の状況

- 集団づくりを中心とした教育活動
- 小中一貫教育
「学習習慣の確立」と「集団づくり」の取組
- 平成26年度～
道徳教育についての研究
→生徒のよりよく生きる心の成長

生徒の状況

【平成26年度2学期実施】

- 「道徳の授業は自分のためになりますか」
肯定的回答は90.9%
(前年度比+19.4ポイント)
 - 「道徳の授業は好きですか」
肯定的回答は71.1%
(前年度比+18.9ポイント)
- 差が19.8ポイント
「ためになる」と思っているが、「好き」ではない生徒

生徒の状況

- 生徒アンケート
「近所の人や家の人にあいさつをしています」
肯定的回答は89.7%
 - 保護者アンケート
「近所の人や家族にあいさつをしている」
肯定的回答は69.3%
- 差が20.4ポイント
人間関係形成能力に課題

生徒の状況

- 生徒アンケート
「自分にはよいところがあります」
肯定的回答は64.7%
- 県平均 65.3%
(H26基礎・基本定着状況調査)
0.6ポイント県平均を下回っている。
自分に自信が持てない

研究の概要

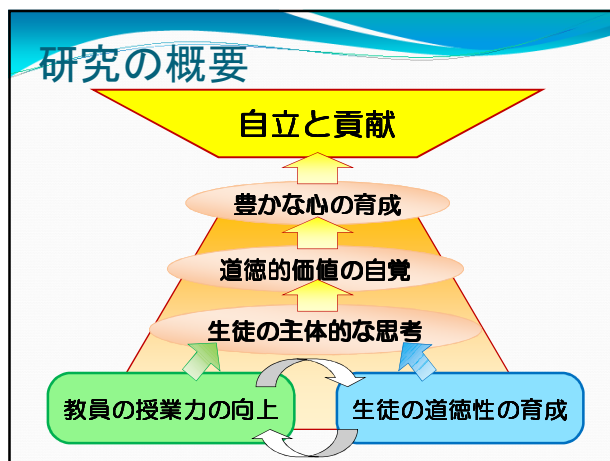
<研究主題>

子供の豊かな心を呼びさまし自立と貢献
への意欲が高まる道徳教育
～道徳的価値の自覚を深める道徳の授業
を通して～

研究の概要

<研究仮説>

道徳の時間において、
資料の分析による発問の精選と、
班(小グループ)を効果的に位置付けた学び合いの工夫
による、
生徒が主体的に道徳的価値の自覚を深めることのできる
授業づくり
を行えば、
生徒の豊かな心を育むことができ、
自立と貢献への意欲を高めることができるだろう。



具体的な取組

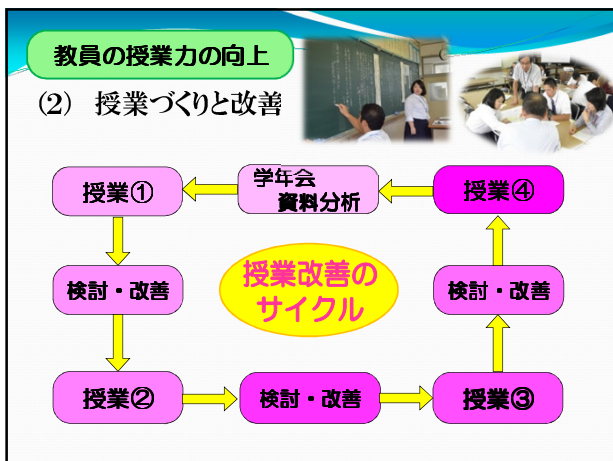
- 教員の授業力の向上
 - 校内研究会
 - 授業づくりと改善
 - 資料分析・発問等の検討

教員の授業力の向上

(1) 校内研究会

- 校内研究授業
- 外部講師を招いての理論研修
「資料分析の仕方や中心発問の作り方」
「発問づくりや授業の流し方」

**成果や課題の共有化
授業力の向上**



1回目の授業

学年 第3学年
 主題 弱さの克服 3-(3)
 ねらい 「二人の弟子」(「私たちの道徳」)
 修行から逃げ出した道徳を許せない修行の心の変化を通して、自分の心の向きや顔さに向き合い、乗り越え、人間として生きることの喜びを見いだそうとする道徳的態度を育てる。

月待等

- 修行僧の一日を話し、イメージを膨らませる
- 道徳が戻ってきたとき、修行はどう思っただろう。
- 道徳が戻ってきたら、まだ戻ってくれば大丈夫
- 上人の言葉にはどんな意味があるのだろう。
- 修行は家に戻しながら、どんなことを考えていたのだろう。

準備

- 道徳(教員が観劇する)
- 自分勝手 ・許せない
- あの時逃げたのになぜ今になって...

2回目の授業

<発問2>

「上人はどうして、道徳を許したのだろう。」

<生徒の反応>

- 修行で学べないことを学んできたから。
- 自分自身の葛藤に勝って成長したから。
- 厳しい修行に戻ってきた覚悟がわかったから。
- 自分自身と向き合おうとする道徳の思いにふれたから。

授業力の向上
 授業・改善の積み上げ

教員の授業力の向上

(3) 資料分析・発問

題材名 (出典名)	主人公の確立
主人公 登場人物	中心発問 基本発問 生徒の反応
資料の 要約	中心発問 に対する 予想される 生徒の反応
資料の メッセージ	基本発問
内容項目 実容と きっかけ	Before(道徳的な変容をする前) 主人公の変容 変容のきっかけ
	After(道徳的な変容をする後)

共通の認識
 授業のゴールの明確化

具体的な取組

- 生徒の道徳性の育成
- 班を活用した学び合い
- 思考を深める書く活動
- 学びを生かせる場

生徒の道徳性の育成

(1) 班を活用した学び合い

- ①自分の考えをまとめる (個人思考)
- ②友達の意見を聞き、自分と違うところをメモする (学び合い)
- ③班で出た意見を全体で交流する (全体交流)
- ④他者の意見をもとに自分の考えをまとめる (ふり回り)

他者との違い・多様な考え
 思考の広がりや深まり・主体的な学び

学び合いの充実

<自分の考えの言い方>

「〇〇さんの考えと似ていて～。
 理由は…です。」
 「〇〇さんの考えと違って～。
 理由は…です。」

<質問の仕方>

「どうしてそう思ったの?」
 「～はどういう意味?」
 「例えばどうということ?」
 「自分はこう思うのだけど、
 どう思う?」

学び合いの一層の充実
 →主体的な学びへ

生徒の道徳性の育成

(2) 思考を深める書く活動

自分の考え

友達の考え (他者の考え)

授業の感想

生徒の道徳性の育成

(2) 思考を深める書く活動

<中心課題>
八十四歳の母のどんな思いが、毎日、午前一時四十分には玄關の戸をあけさせるのだろう。

●考えてみよう！

<自分の考え>
お金の大切さを改めて感じた。お金の大切さを改めて感じた。お金の大切さを改めて感じた。

<友達の考え>
お金の大切さを改めて感じた。お金の大切さを改めて感じた。お金の大切さを改めて感じた。

学年 第1学年
主題 勤労の尊さ 4- (5)
「午前一時四十分」
ねらい 「中学生の道徳1- 自分を見つめる」あかつき
勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする道徳的心情を培う。

お金をもらい生活する

自分がいなければ、周りの人が困る

家族のためにがんばる

今日の授業で、働くとはお金をもらうためだけではなく、人との関わりや自分がしている仕事はだれかの役に立っているということが分かった。...

**思考の深まりの視覚化
生徒の変容→評価**

生徒の道徳性の育成

(3) 学びを生かせる場

みんなで協力することの大切さを改めて感じた

自分の役割を果たすことができた

○学校行事

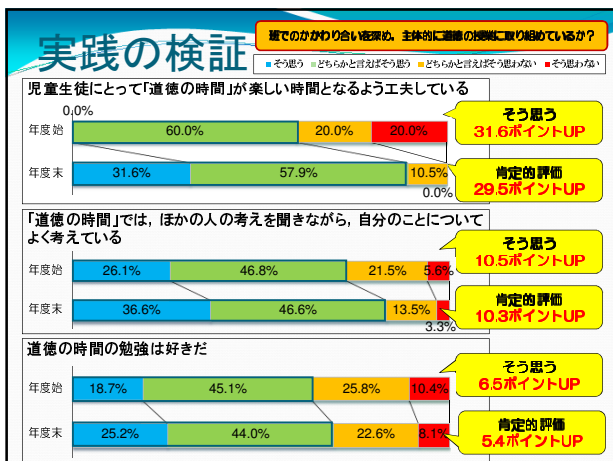
○ボランティア活動

道徳の時間の学びを
実践につなげる

実践の検証

(1) 班でのかかわり合いを深め、主体的に道徳の授業に取り組んでいるか？

(2) 自ら考え行動しようとし、社会に貢献しようとしているか？



実践の検証

班でのかかわり合いを深め、主体的に道徳の授業に取り組んでいるか？

(1) 教員の授業改善に対する意識が高まっている

(2) 生徒の学び合いが広がっている

(3) 生徒が主体的に道徳の授業に取り組んでいるかという点に課題が残っている

実践の検証

班でのかかわり合いを深め、主体的に道徳の授業に取り組んでいるか？

(1) 教員の授業改善に対する意識が高まっている

- ① 学年会で共通のシートを活用した教材分析や発問の検討を行うことで、**ねらいとする価値や発問が明確になった**
- ② 道徳教育推進教師が授業の反省を職員室で行うことで、**発問や生徒の反応等が日常的話題となった**
- ③ **研修や検討を積み上げる**ことで、教材分析、授業の流し方、発問や切り返し等を工夫するようになった

実践の検証

班でのかかわり合いを深め、主体的に道徳の授業に取り組んでいるか？

(2) 生徒の学び合いが広がっている

- ① 班活動を授業の中に位置付けて、他者との交流をする中で、**他者の考えとの違いに気づき、多様な考えを聞いて思考を深めるようになった**
- ② 他者の考えをもとに自らの思考を深めるワークシートの活用により、**自己の思考の深まりを実感できるようになった**

実践の検証

班でのかかわり合いを深め、主体的に道徳の授業に取り組んでいるか？

(3) 生徒が主体的に道徳の授業に取り組んでいるかという点に課題が残っている

- ① 生徒の発言を引き出すことができるようになってきたが、**生徒の考えを深める発問が十分ではない**
- ② 班で意見交流はできているが、**生徒が互いに意見を深める工夫が十分ではない**

実践の検証

自ら考え行動しようとし、社会に貢献しようとしているか？

■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

項目	年度始	年度末	変化
近所の人にかつたときはあいさつをしている	66.1% (そう思う)	66.9% (そう思う)	0.8ポイントUP
生徒会活動や学校行事などにおいて学校の一員としての役割や責任をしっかりと果たしている	37.8% (肯定的評価)	35.6% (肯定的評価)	2.2ポイントDOWN

実践の検証

自ら考え行動しようとし、社会に貢献しようとしているか？

生徒が自ら考え、社会に貢献しようとする意欲の高まりは見られるが、実践に十分につながっているとは言い切れない

- ① 肯定的評価が高い割合であるなど、自ら考え行動しようとし、社会に貢献しようとする**意欲が高まっている**
- ② 道徳の時間と有機的に関連付けた学びを生かす**場の設定が十分ではない**

今後に向けて

教員の授業力の向上

- **ねらいとする価値に迫る**
 - ・ 生徒の意見に対する補助発問（切り返し）の工夫を行う
- **学び合いの質の向上を図る**
 - ・ 学び合いのルールを明確にする
 - ・ 互いに深め合える工夫を行う

生徒の道徳性の育成

- **学びを生かす場とつなげる**
 - ・ 道徳の時間と有機的に関連付ける
 - ・ 地域や家庭との連携を図る

ご清聴ありがとうございました

